

【AI レコーダー】 IVS (侵入検知/トリップワイヤ) /SMD (スマートモーションディテクト) /MD (モーションディテクト) 比較

2021/6/7

対象機 RD-NF4832-AI / RD-NF4416-16P-AI / RD-NF4208-8P-AI

設定 **IVS (侵入検知/トリップワイヤ)**

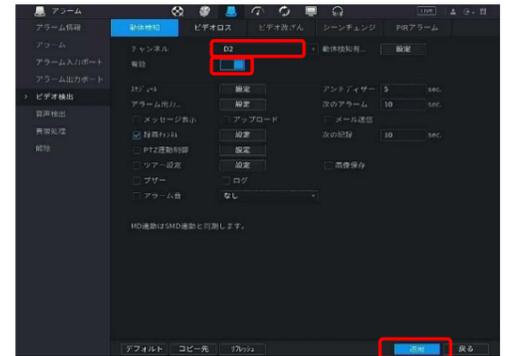
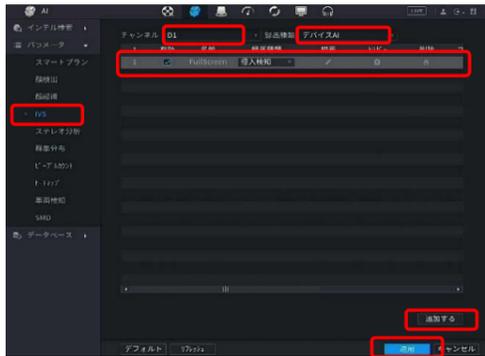
SMD

MD(動体検知)

メインメニュー → AI → パラメータ → IVS

メインメニュー → AI → パラメータ → SMD

メインメニュー → アラーム → ビデオ検出 → 動体検知



チャンネルを選択します。
 ↳デバイスAIを選択します。
 ↳「追加する」を押します。
 ↳「有効」にチェックを入れて
 録画種類を選びます。
 ↳描画のアイコンをクリックして
 ラインを引きます。
 ↳「適用」を押します。

チャンネルを選択します
 ↳デバイスAIを選択します
 ↳「有効」にします
 ↳「適用」を押します

チャンネルを選択します
 ↳「有効」にします
 ↳「適用」を押します

検出エリア **IVS (侵入検知/トリップワイヤ)**

検出ライン作成

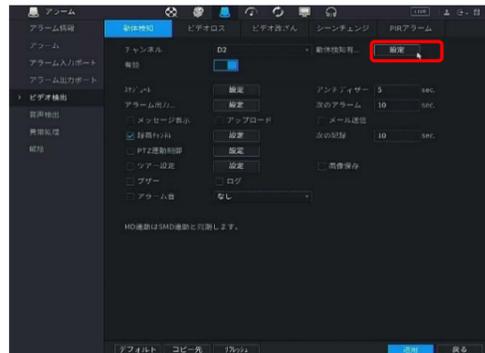
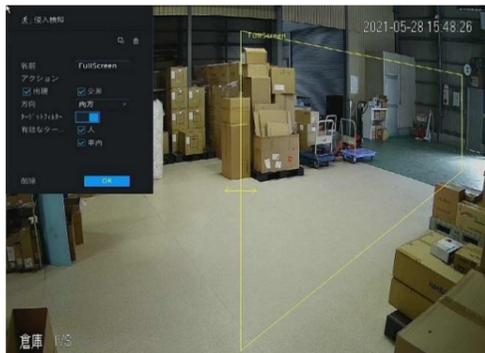
SMD

動体検知エリア設定

アラーム→ビデオ検出→動体検知

MD(動体検知)

動体検知エリア設定



指定が終わったら、画面を閉じて
 「適用」を押します



指定が終わったら、画面を閉じて
 「適用」を押します

エリア(マス)を選択して、
 感度と限界(閾値)を調整します。
 終わったら画面を閉じて「適用」を押します

	IVS (侵入検知/トリップワイヤ)	SMD	MD(動体検知)
帯域制限	デバイスAI：1台から88Mbpsに制限 カメラAI：無し	デバイスAI：無し カメラAI：無し	なし
感度調整	不可	低・中・高 (初期値 中)	感度：0～100 初期値60 限界(閾値)：0～100 初期値5
検知範囲	自由に作成	動体検知画面でエリアを指定	動体検知画面でエリアを指定
画面表示	作成した線や枠が表示される 作動時はラインが明滅する	作動時のみ動体検知アイコンが表示	作動時のみ動体検知アイコンが表示
AIプレビュー	あり (人・車)	なし	なし
使用台数	4台まで	8台まで	フルチャンネル可能
メール送信	可	可	可
プッシュ通知	可	可	可
他	スケジュール/ブザー/アラーム音/ログ 設定可	スケジュール/ブザー/アラーム音/ログ 設定可	スケジュール/ブザー/アラーム音/ログ 設定可

	IVS (侵入検知/トリップワイヤ)	SMD	MD(動体検知)
ポイント	<p>人・車をターゲットに出来ます。 デバイスAIは”人”や”車”がターゲットフィルタとして選択できます。 (人・車が選択できるカメラ(カメラAI)は少ない)</p> <p>IVSはAIプレビューが可能です。(SMDはAIプレビュー不可)</p> <p>デバイスAIでの検出感度はIVS、SMD同程度です。 カメラAI選択時の感度はカメラに依存します。</p>		<p>Region(領域)を4つ(赤・黄・青・緑)選択可能です。 Region毎にマスは複数選択可能です。</p> <p>小さな物体を反応させたくない場合は 閾値を上げます。 例えば「50」の場合、およそ10マス分の 変化がないと検出しません。</p>

	IVS (侵入検知/トリップワイヤ)	SMD	MD(動体検知)
注意点	<p>ひとつのチャンネルでIVSとSMDの併用はできません。</p> <p>IVSは、1台でも設定すると帯域制限がかかります。</p> <p>設定時、「適用」ボタンを押し忘れがちですので注意してください。</p> <p>IVS、SMD、デバイスAI、カメラAIを混在して設定すると混乱する可能性がありますので、 注意してください。</p> <p>メール通知は、メールサーバーやプロバイダの関係でうまく行かないケースがある。 スマホやタブレットへの通知は「プッシュ通知」がおすすめ。</p>		機能および感度はカメラに依存します。